

(平成 27 年度第 10 回環境影響評価審査会資料)

○ 儀間川総合開発事業に係る事後調査報告書について

- (1) 事業概要 1
- (2) 環境影響評価の手續の状況 3

儀間川総合開発事業について

- 1 事業名 儀間川総合開発事業
- 2 事業者 沖縄県知事 翁長 雄志
- 3 施工場所 久米島町

4 事業目的

儀間川水系は河道の流下能力が小さいため、集中豪雨や台風などによる大雨によって儀間地区の住宅地及び畑地などが洪水被害に見舞われている。また、儀間池から水道用水が取水されているが、儀間池水系は流域面積が小さいため流量が乏しく、また、降雨が梅雨期や台風期に集中しているため流況が不安定であるため、安定取水が望まれている。

以上のことから、洪水調整、水道用水の供給、流水の正常な機能の維持を目的として、儀間ダムを建設するものである。

5 事業概要

(1) 事業種 ダムの設置の事業

(2) 事業規模

儀間ダム 貯水面積：11.7 ha（事業前の儀間池：4.3 ha）

注1）環境影響評価時の事業規模は総貯水面積19.4ha（うち、儀間ダム11.7ha、タイ原ダム7.7ha）であったがタイ原ダムの建設中止により事業規模が縮小している。

注2）当該事業は、特別配慮地域（久米島県立公園区域第3種特別地域）に係る事業である。

注3）沖縄県環境影響評価条例の対象規模

普通地域 貯水面積：20 ha以上

特別配慮地域 貯水面積：10 ha以上

(3) 関連工事

ア 堤体材料の掘削 材料山の掘削土量 494,000m³

イ 取付道路の設置

ウ 仮設ヤードの設置 面積 約13.2 ha

(4) 施工期間 約7年

6 事業計画の検討経緯

(1) 計画の策定経緯

平成5年度 事業計画検討、利水計画の策定

平成7年度 概略全体計画の策定

平成9年度 工事実施基本計画の認可

儀間ダムの概略設計

平成11年度 タイ原ダムの概略設計

平成13年度 河川整備基本方針が同意される

ダム軸・ダム型式の基本設計会議（国土交通省河川局）

河川基本整備計画が同意される

平成24年度 タイ原ダム整備計画の中止決定

(2) 環境影響評価手続きの経緯

ア 方法書の手続き

平成13年11月 6日 環境影響評価方法書の県への送付
11月30日 方法書の公告・縦覧（平成14年1月4日まで）
平成14年3月22日 方法書に対する知事意見の提出

イ 準備書の手続き

平成17年6月27日 環境影響評価準備書の県への送付
6月28日 準備書の公告・縦覧（平成17年7月27日まで）
12月21日 準備書に対する知事意見の提出

ウ 評価書の手続き

平成18年5月29日 環境影響評価書の県への送付
7月5日 評価書に対する知事意見の提出
7月31日 評価書（補正版）の県への送付
8月1日 評価書（補正版）の公告・縦覧（平成18年8月31日まで）

オ 事後調査

平成19年1月25日 工事着手

（平成20年1月～平成21年5月）

平成21年8月13日 事後調査報告書の県への送付
8月14日 事後調査報告書の公告・縦覧（～9月13日）
10月5日 知事による環境の保全のための措置の要求

（平成21年6月～平成22年5月）

平成22年9月27日 事後調査報告書の県への送付
9月28日 事後調査報告書の公告・縦覧（～10月27日）
11月29日 知事による環境の保全のための措置の要求

（平成22年6月～平成23年5月）

平成23年9月16日 事後調査報告書の県への送付
9月16日 事後調査報告書の公告・縦覧（～10月17日）
11月9日 知事による環境の保全のための措置の要求

（平成23年6月～平成24年5月）

平成24年10月1日 事後調査報告書の県への送付
10月12日 事後調査報告書の公告・縦覧（～11月13日）
12月5日 知事による環境の保全のための措置の要求

（平成24年6月～平成25年5月）

平成25年10月9日 事後調査報告書の県への送付
10月15日 事後調査報告書の公告・縦覧（～11月13日）
12月5日 知事による環境の保全のための措置の要求

（平成25年6月～平成26年5月）

平成26年10月22日 事後調査報告書の県への送付
11月7日 事後調査報告書の公告・縦覧（～12月8日）
12月26日 知事による環境の保全のための措置の要求

（平成26年6月～平成27年6月）

平成27年12月11日 事後調査報告書の県への送付

儀間川総合開発事業に係る環境アセスメントに関する流れ



